

【記者からの質問】

朝日新聞／予算編成にあたっての思いを。

知事／コロナで県民がそれぞれの立場で苦しいと認識している。支援の方法が難しかった。

第1弾 店舗型の支援金 1店舗 15万円を打ち出したとき、事業者は額ではなく、気持ちが励みになったと。それで前に進むことができたと聞いた。これが大事なことだと、参考になった。

広範囲に支援策を打ち出している。それが、肩を叩き励ましている効果なら、とてもいいと感じた。

他県は、国の支援金の何パーセントという制度設計をしている。我々は、額は大きくないが、多くの事業所が励みになるような予算編成にした。まだ苦しんでいる人がいるだろうが、国と県と市町の支援金で、前を向けるような予算にした。

朝日新聞／サガン鳥栖は20億の赤字を計上している。救済という意味があるのか？

知事／サガン鳥栖は厳しい状況とは聞いている。昨シーズンの赤字は、チームで増資し債務超過を回避。ライセンスの問題はクリアされている。1億円は、コロナで試合ができなかったことに対する支援。

朝日新聞／コロナの支援だけ？

知事／20億の負債で厳しい状況。さらに、今回コロナで厳しくなっている。

制度としては、コロナ対策であるが、サガン鳥栖が前に向いていく支援になれば。いろいろ考えたが、補助金ではなく、他と同じように数字で出した。

朝日新聞／4時半からの会見では、各社締め切りが厳しい。もう少し早くしてもらうと、大きく扱える。

知事／私のスケジュールのせいなら、申し訳ない。これは共同作業だから、気をつけたい。

STS／ウェディング祝福プランは、再度式を挙げるのが条件か？キャンセルしたことに対してか？

知事／その条件はない。キャンセルしたことで、キャンセル料などが発生しているから。

STS／昨年度末の補正から今回の補正で、経済対策として一通り打ち出せた認識か。まだ積み残しているという認識なのか？

知事／まだあると思う。昨日、お茶農家から厳しい話を聞いた。9月に向けて政府の臨時交付金も予算化されるだろう。

それを見据えながら、6月以降にもう1度考えないといけない。

佐賀新聞／プロスポーツの配分の根拠を教えてください。

知事／活動に必要な固定費、人件費、施設使用料等を参考に積算した。詳しくは担当から。

日経新聞／九州域内の観光誘客への支援とは、具体的にどんなもの？

知事／造成費に対する支援。佐賀県に来る企画商品を作った場合に交付される。

西日本新聞／サガン鳥栖は、1億円の支援でもまだ苦しいと思う。さらに追加支援するつもりはあるのか？

知事／他のバランスも考えて措置した。裾野の広さや県民の思いを含めて1億円。大分トリニータやコンサドーレ札幌も厳しいときに支援を受けている。

県のサガン鳥栖への出資は300万ほどで、今までほとんどやっていない。支援を差し伸べるなら、今回だと。

しかし、今回限り。

NHK／観光では特に、コロナとの共存を考えた予算に思う。その観点で、知事の思いを。

知事／コロナのリスクがゼロになるとは思っていない。また出てきたときの感染症対策は、PCR 検査を徹底して封じていく。

経済社会生活の中で、どのような形態に社会が変わるのかに関心を持っている。

例えば、空調も変わってくるだろう。県庁の事業用エアコンは、空気の入替えが十分できている。しかし、家庭のエアコンでは、ときどき窓を開けて換気をしないといけないそうだ。そうすると、レストランはどうすればいいのか。

そういった新しい場面で、どんな支援をするかは地域や自治体で違う。

今の気分は、鈴木大地のバサロ。あれは、どれだけ潜って距離をかせぐかが勝負。佐賀県は、先の方で浮かび上がりたい。

読売新聞／ふるさと納税は、目標額を設定して呼びかけたりするのか？

知事／ある程度数字が出てきたら、ここまでという数字を決めてもいい。皆さんの気持ちに、あらかじめの目標設定はしたくない。

みんなの気持ちと、いわゆる公の支出がバランスよく、みんなでエールを送りながら進む形をつくりたい。

読売新聞／当初予算で見直しや中止をしたものは？

知事／今、精査中。

私は 2 月の中旬から県外に出していない。それだけでも経費が変わる。職員全体もそうだし、イベントもやっていない。9 月に向けて、財政課の方が精査する。

朝日新聞／17 億 6900 万円の予算で、コロナでなかったら組まれていない額は？主要事項参考資料に校舎等施設整備事業がある。学校に空調を設置する事業だが、コロナでなくても組まれている予算では？

知事／ほとんどがコロナじゃなかったらやっていない予算。空調は考えるきっかけになった。

コロナで休校になったら、夏休みに学校に行くことになる。

佐賀県は、保護者が先行して、自分たちで空調を入れている。入っていない学校には、交付金を利用して入れることにした。従来通り、ランニングコストは保護者で。

今回は、コロナをきっかけに考えたものがほとんど。それ以外は、毎年ある国の予算の増減したもの。